



2011~2012年度
国際ロータリーのテーマ
こころの中を見つめよう
博愛を広げるために
2011~2012年度
RI会長 カルヤン・ハネルジー

WEEKLY REPORT

ROTARY CLUB OF NAGOYA MIZUHO

創立：1980年(昭和55年)1月10日
会長：高須 洋志
幹事：馬場 将嘉
クラブ広報委員長：関谷 俊征
例会日：毎週木曜日 PM12:30~
会場：ビルトン名古屋

事務局：460-0008
名古屋市中区栄1丁目3-3
ビルトン名古屋910号
TEL：052-211-3803
FAX：052-211-2623
MAIL：2760_nagoya@mizuho-rc.jp
URL：http://www.mizuho-rc.jp/

第1554回例会

2012年6月14日(木) 晴 第44回

~ロータリー親睦活動月間~
クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

なごやか例会

司会：亀井直人会場委員長
斉唱：「我等の生業」「四つのテスト」

会長挨拶

高須洋志会長

なごやか例会であまりフリーに時間を取ると、退屈になってしまう場合もありますので、段々と直して頂ければ良いと思います。自由な雰囲気皆さんとお話できる機会は大事だと思っておりますが、今のところ、私が見ている限りでは持て余し気味に見える。会場設定や話題提供など色々な工夫が必要になると思います。来年度も行う予定だそうなので、少しずつ改善して頂いて下さい。名古屋北RCでこうした形の例会を2度見学させて頂きました。名古屋北RCでは長年毎月1回最終例会の時にやっているため、雰囲気の出し方が手慣れています。瑞穂RCはまだ始めたばかりなので、皆さんが友好的に過ごすためにはもう工夫必要だと思っております。来年度は皆さんで知恵を出して下さい。設営で椅子を後ろの方に置くと離れた場所に行ってしまう、前の方がガラ空きになります。配置などを考えながら楽しめる例会になっていくと良いと思っています。



いよいよ6月になり、ほぼ終わりの気分です。あと2回例会を行うと今年度は終了し、次年度に引き継ぐのでだいぶ気分は楽になりました。こうして皆さんの前でお話しするのも、あと1、2回ですので、本日は単独のパフォーマンスを行わせて頂きます。自分の考えを好きなように話せる貴重な機会ですので、どうぞ大目に見て下さい。後ほど少しお話しさせて頂きます。

どんな例会を行うかは会場委員会の采配でもあります。決まっているものは例会の最初と最後はきちんと行うこと、皆さんに食事を楽しんで頂くこと、必要な連絡を行うことです。それ以外はフリーなので、会場委員会の方々は頑張ってください。

ニコボックス

山本英雄ニコボックス委員

- ・本年度も何かとありがとうございました。 **越原 一郎さん**
- ・年度末が近づいて参りました。一年間お世話になり、会員の皆様に感謝申し上げます。 **高須 洋志さん**
- ・6月1日に75歳になりました。 **平野哲始郎さん**
- ・6月13日は65回目の誕生日でした。それと6月17日(日)に山田愛子さんのコンサートが開かれますので、皆様いかがですか？ **松波 恒彦さん**
- ・昨日は家内の誕生記念日祝いにコショウランをプレゼントして頂きありがとうございます。昨年のデンファレも手入れ良く開花して部屋が賑やかになりました。 **江口 金満さん**

・先週の高須会長年度の最終理事会を欠席して申し訳ありませんでした。高須会長、馬場幹事、いよいよ秒読みに入りましたね。

増田 盛英さん

・北海道行きたいなあー！暑い名古屋で頑張ります。

内田 久利さん

・最後のなごやか例会です。よろしくお祈りします。

亀井 直人さん

・今日からの北海道楽しみです。先輩方々お世話になります。

鈴木 淑久さん

・入山さんが6月11日(月)にとうとう退職してしまいました。皆さん、お声を掛けてあげて下さい。

山本 英雄さん

お話

高須洋志会長

最初は少し頭を柔らかくして頂く話をしたいと思います。『□肉□食』という四文字熟語を見て、皆さんは何を思い浮かべますか？正しくは『弱肉強食』ですが、大学入試の実際の回答で『焼肉定食』というものがありません。『□器□成』の正解は『大器晩成』ですが『便器完成』、『品□方□』の正解は『品行方正』ですが『品川方面』、『火中の栗を拾う』を『火中の芋を拾う』という回答もあったそうです。ユーモアがあると言いますか、入試の時にそうした答えを書くというのも1つの能力なのかとも思います。

本日は地球の1,000万分の1の模型を作ってきました。この模型に書いてあるラインの話をしたと思います。先日は地球の外の話をしたのですが、本日は中のお話です。1番外側にある1cm幅の茶色い線は地殻を表し、実際には100kmの厚さになります。我々が陸地と呼んでいるものはその表面の10km程です。その陸地が10数枚のプレートに割れており、中に対流があるため動いています。地球の表面から中心までは直線約6,800km位です。中心から大きく分け、圧力が高いため固体になっている鉄とニッケルでできた『核』、流動体が対流して地球の磁気に影響を与えている『外核』、『ブルーム』と呼ばれる大きなマグマの噴出を起こす『下部マントル』、流動体が地表に吹き出すと火山となる『上部マントル』の4つに分かれています。極端に大規模な『ブルーム』が起こると、地球全体に甚大な被害をもたらす大噴火になります。地球の表面は生物がとてつもないような状態になってしまいます。この模型で空気のある部分を示すと1mmくらいしかなく、動く地震や大陸の移動を起こすプレートは表面に浮いたような状態で、そこで我々は生活しています。地球全体から見れば、我々の生存圏は非常に薄い範囲だという事が分かります。空高く上がれば空気が薄くなり、海に潜っても海底はすぐそこです。その狭い生活圏をいかに守るかが重大な問題です。地球や太陽の影響で環境や気候が気候変動が起こります。我々は生物として環境を守る事が大切です。



会員68名 出席51名 (出席計算人数51名)

出席率 87.9%

5月17日は補填により 93.3%

幹事報告

馬場將嘉幹事

- ・6月16日(土)に国内友好クラブの札幌手稲RCを会員12名の予定で訪問します。
- ・次週6月21日(木)の例会は第5回クラブフォーラムを行います。内容は次年度行事予定と委員会報告(1年間の総括)です。

なごやか例会風景



国際ロータリーニュース

「ポリオ撲滅は公共保健上の緊急課題」世界保健総会

世界ポリオ撲滅推進計画(GPEI)はこの度、「2012-13年世界ポリオ緊急行動計画(Global Polio Emergency Action Plan 2012-13)」を立ち上げました。この1年間でポリオ発症数は大幅な減少を見せているものの、いまだに資金不足の問題が残されており、予防接種の徹底化も緊急に求められています。

この計画は、3つのポリオ常在国(ナイジェリア、パキスタン、アフガニスタン)における予防接種活動を充実化させることを目的としています。5月25日、ジュネーブで開かれた2012年世界保健総会でも、各国の保健大臣がポリオ撲滅を「世界公共保健プログラムの緊急事態」として宣言するための決議を可決しました。

2010年以降、ポリオ撲滅活動では大きな進展が見られました。インドは2012年2月に世界保健機関(WHO)によりポリオ常在国リストから除外され、ポリオがなくなった国における再発生は抑えられています。しかし、同じく2010年以降、パキスタンやナイジェリアからのウイルス流入により、中国や西アフリカでポリオの新たな感染者が確認されています。今、ポリオを完全に撲滅しなければ、今後10年間で20万人の子供たちがポリオの脅威にさらされると予想されています。

世界保健機関のマーガレット・チャン事務局長は、「ポリオ撲滅は、成功と失敗の分かれ目にあり、緊急事態として、ポリオの脅威が最も大きな地域で集中的に予防接種を行わなくてはならない」とし、撲滅達成に向けて速やかに対応する必要性を訴えました。

また、ポリオ撲滅が達成されれば、2035年までに400億～500億ドルの医療費の節約が期待できるとも予測されています。

カルヤン・パネルジー国際ロータリー会長は、「インドでの成功例が証明するように、ポリオ撲滅は達成できます。問題は、それを支援する政治的・社会的意思があるかどうかです。ここで撲滅活動をやめてしまえば、毎年20万人の子供達が身体の自由を奪われてしまいます」と話します。

世界ポリオ緊急行動計画

世界ポリオ撲滅推進計画の緊急行動計画は、新たな国別の緊

急計画とともに立ち上げられました。この計画は、インドでの成功例を基に、以下のようなポリオ撲滅活動を支えるための新たな戦略やイニシアチブを含んでいます。

- ・ナイジェリア、パキスタン、アフガニスタンの最も発症数の多い地域に焦点を当て、2012年末までに、ウイルスの伝播を食い止めるために必要な予防接種を実施する。
- ・各国の状況に応じた新たなアプローチを取り入れ、ポリオ予防接種キャンペーンの質を向上させる。
- ・政府、パートナー機関や組織のあらゆるレベルにおける説明責任、協力体制、監視体制を強化する。
- ・技術支援や社会的動員を高める。

緊急行動計画実施には十分な資金が不可欠

GPEIはすでに、資金不足のせいで24の高リスク国で予定されていた予防接種活動を中止したり、規模を大幅に縮小するといった対応を余儀なくされており、これによって多くの子供達が危険にさらされています。また、ポリオがなくなった国でも再発生の危険性が高まっています。

「すべての子供達に予防接種が行われない限り、撲滅は実現できません。この恐ろしい病とこれまで闘ってきたのですから、今こそ歴史を作る時です。でなければ後世までこの活動を達成できなかったことが悔やまれるでしょう」と語るのは、ユニセフのアンソニー・レイク事務局長です。また、ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団のクリス・エリアス氏は、「私たち全員がポリオのない世界を達成するための責任を持つ」とし、ワクチンによって防ぐことのできる疾病からすべての子供達を守ることの重要性を訴えています。



チャドでポリオ予防接種を受けた子ども。しかし、中央アフリカの国々やそのほかの地域では、ポリオの脅威にさらされている子どもたちが存在します。写真提供: Jean-Marc Giboux

緊急行動計画の実行は、2013年までの10億ドルの資金不足によって妨げられています。

緊急事態として取り組む

2012年から、GPEIの活動はより緊急性を増しています。米国疾病対策センター(CDC)は緊急オペレーションセンターを稼働、ユニセフは副事務局長直下の部門間緊急調整委員会を正式に発足、WHOは、ポリオ撲滅活動の運営を戦略的保健オペレーション・センター(SHOC)に移しました。

これらの対応は、これまでH1N1ウイルスの流行や2004年のインド洋での津波など、緊急性の高い問題に対して取られてきたものであり、あらゆる技術を結集させ、リアルタイムで状況を監視し、必要な場合に即時に修正措置を取ることを可能にします。3月、ロータリー財団管理委員会は、ポリオ撲滅が財団の緊急の最優先事項であることを再確認しただけでなく、ロータリーのシニアリーダーは、ポリオ常在国の国家元首との1対1の会合を行っています。

CDCのトーマス・フリーデン博士は、「ポリオ撲滅の達成に向けた関係者全員のコミットメントが必要です。簡単なことではありませんが、互いに協力すれば永久にポリオをなくすことができます」

例会のご案内

■今週の行事 6月21日(木) 第5回クラブフォーラム

内容:委員会報告と次年度行事予定

■次週の行事 6月28日(木) 下期納会

場所:か茂免
時間:18:00~20:00

■次々週卓話 7月5日(木)

会員卓話:松波恒彦会長
テ一マ:会長挨拶